

「わたしとルントウとではどちらがかわいそうか」－わたし側の立論－

「ディベート情報カード」の記述

〈立論の根拠〉

ルントウはまずしいので、他の人からも「かわいそう」と思われるけれど、「わたし」は、えらい人なので、「幸せ」だと思われている。だから、「わたし」の方がかわいそうだ。

〈立論の根拠〉

ルントウと昔、仲良く遊んだことが「だんな様」と言われたことによって、もう兄弟仲には戻れないことを知って、かわいそうだと思った。

〈立論の根拠〉

久しぶりに会ったのに「だんな様」と言われたし、自分の生まれ育った故郷がなくなったから。

「わたし」側の立論

私たちが「わたし」の方がかわいそうだとする根拠は4つあります。

その第1は、自分の生まれ育った故郷が、なくなってしまったということです。第2は、知事というだけで幸せだと思われていることです。第3は、ルントウとの間に社会的身分の差ができてしまったということです。第4は、がらくたを売ってまでお金をつくらなくてはならないほど貧乏だということです。

まず、第1の根拠については、「わたし」は引っ越すので故郷には、もう戻ってこないということです。第2の根拠は、132ページ7行目で「ぼくは、金持ちじゃないよ。」と本人が言っているし、125ページ6行目に「家の暮らし向きも楽で、わたしは坊っちゃんでした。」ということは、昔は暮らしが楽だが、今は暮らしが楽ではないということです。しかし、このとき、金持ちでないのに、なぜ、おめかけを3人もつくれるのかという問題も生じています。

次に、第3の根拠は、「わたし」はルントウとの思い出を大切にしていたのに、ルントウから裏切られるようなことを言われたので、「わたし」の方がショックでとても悲しかったと思います。

最後に、第4の根拠は、ヤンおばさんのような貧乏人ががらくたというほど、「わたし」が持っていたのは相当ながらくただということです。「わたし」は相当な貧乏なうえに、心も傷ついているので、「わたし」の方がかわいそうだと思います。

以上で、私たちの立論とさせていただきます。ありがとうございました。